

県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

山梨県デジタルトランスフォーメーション推進計画(素案)

No.	箇所	意見の概要	意見数	県としての考え方 (対応方針)
1	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ③体験型文化観光の推進	AR等の新しい技術を活用した文化体験は県外・海外への情報発信の側面から極めて効果的な施策であり、県所有の観光施設だけでなく民間の施設や山梨を象徴する自然など統合的なヴァーチャル観光プラットフォームに発展させ、より発信力を高めていく必要がある。	1	【実施段階検討】 ・計画の取組方針のなかで、DXによりどのような姿を目指し、どのような方針で進めていくのかについて、県民はもとより、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などと共有し、具体的な取り組みを進めていくこととしています。 ・DX推進による観光サービスの変革に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
2	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ⑤情報システムの活用と最適化	クラウドサービスの活用による外部とのデータ授受迅速化の取り組みについて、データ授受だけでなく、クラウド上のデータベースを共有する等の検討も視野に入れることにより、リアルタイムな情報連携と効率化、AI等を活用したデータ分析による新たな知見の掘り起こし等、より高度なICT活用への発展が期待できる。	1	【実施段階検討】 ・クラウドサービスの活用については、セキュリティの確保との両立を図りながら、進めていくこととしています。 ・また、行政のDX⑥サービス向上と業務の効率化において、AIやRPAなどを活用する業務の拡大に取り組んでいるところですので、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
3	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ③オープンデータの推進	データの利活用はこれからの企業活動において必須の取組みであり、現在公開されているデータは非常に貴重で価値のあるものと認識している。これらのデータを県内の様々な企業が活用することで、山梨県全体の活性化に繋がるため、今後は、これまで公開されているデータや新規のデータについても、可能な限り2次利用が可能な形式での公開を希望する。	1	【記述済み】 オープンデータの取り組みは経済活性化のために重要な取組みであると考えており、V. DX推進のための主な取組み事項の1-③オープンデータの推進において、具体的な事業として、情報システムで直接利用可能なデータによる公開を順次拡大していくこととしています。
4	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ⑦産業を支える人材の育成・確保	IT部門出身者や外部企業出向経験者を中心に部門横断的なチームを構成し、業務と技術の両方ある程度理解できる人材がRPAやAI等も順次業務への適用を進めている。DXを推進するにあたり、人材の育成確保は極めて重要な要素である一方で、その育成には時間がかかることが一般的であり、産官学で連携して計画的な人材育成計画を策定し、互いに講師等を融通しあう等工夫をする中で進んでいくべき。	1	【実施段階検討】 ・DXに関する意識啓発や、本県産業を支える技術系人材の育成と確保を図っていくための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
5	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ①ものづくりなどの生産性向上	「オープンイノベーションを推進するためのネットワークの構築」に当たっては、その見える化と、オープンイノベーションの取組み内容を一元的に情報発信するような「地域DXプラットフォーム」(仮称)の構築に取り組んでいくべきであり、行政が骨格作りと事務局を担い県内外のベンチャー企業や個人がテーマにより自由に参加できるような仕組み必要。	1	【実施段階検討】 ・現在取り組みを進めているオープンイノベーションを推進するためのネットワークの構築のための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
6	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ⑨DX推進を支える職員の育成	デジタル技術を最大限に活用していくためには、内部人材の育成だけでは限界があり、デジタル庁(仮称)や農林水産省などの官庁においても、DX推進にあたり、外部IT人材の登用を進めている。外部人材を登用することで、内部人材の底上げにも繋がると考えられるため、具体的な取組みの中に、「外部IT人材の登用の検討」など、検討を進めていくことを記してはどうか。	1	【修正加筆等意見反映】 ・DXを推進していくためには、先進的な技術の内容を理解し、行政の取り組みに取り入れている人材が必要であると考えています。 ・その手段として、内部人材の育成と外部人材の登用を含めた人材の確保が重要であるため、以下のように記載を修正します。 1-⑨DX推進を支える職員の育成・確保 具体的な項目(5項目目) ◇外部人材の登用も含めた必要な人材像や登用の仕組みの検討 ◇先進的な技術の内容を理解できる人材の育成・確保

No.	箇所	意見の概要	意見数	県としての考え方 (対応方針)
7	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ⑥サービス向上と業務効率化	2019年10月に県内自治体初のペイジー収納が導入されたが、紙(納付書)ベースによる収納率は依然として高い水準にあるため、納税者・地公体・金融機関の三者全てが効率的に手続きができるよう電子収納(ペイジー収納、地方税共通納税システム(eTAX))の周知・利用促進に注力していただきたい。	1	【修正加筆等意見反映】 ・電子収納を含めたオンラインで利用可能な行政手続の周知は重要であり、現在も取り組んでいる内容であるため、1-①行政手続のオンライン化の具体的な取り組みに以下の記載を追加します。 ◎オンラインで利用可能な行政手続の周知
8	全般	計画の各項目の推進状況について、オープンな形でその有効性を評価・検証するとともに、デジタルデバイドを有する県民、企業、関係機関への対応について配慮した計画策定ならびに計画推進をお願いしたい。	1	【その他】 計画の各項目の進捗状況について公表するとともに、計画に関する意見を随時募集し、計画の見直しを図っていく予定です。また、IVの施策推進に当たっての留意点の一つとして、「誰も取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げ、全ての県民の方にデジタル化の恩恵を広く行きわたらせていくという観点が重要であると記載しています。
9	全般	県として注力すべき分野(観光、農業、環境、教育、福祉、子育て、産業振興等)、将来像(こういった県を目指す等)を整理した上で計画への落とし込みを行うべき。 また、国との役割分担を図り、県の責任範疇を県内の市町村・民間企業・有識者と協働で進めていただきたい。	1	【記述済み】 Ⅲにおいて、本県の目指す姿を「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」とし、その取組方針として、行政、産業、暮らしの3つのデジタルトランスフォーメーションとして整理し、県民はもとより、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などと共有し、具体的な取り組みをすすめて行くこととしています。
10	1-5 推進体制	DX計画の推進のためには、トップのコミットメントと、自身の業務にとって必要と認識してもらうことが重要であり、企画や計画裁定する推進本部と技術ノウハウを持つ情報部門、各業務に関する知識のある職員が一体となった時に計画されたものが実現される。	1	【記述済み】 1-5推進体制において、知事を本部長とする推進本部により推進することとするとともに、各部署に設置されているDX推進部会を中心に連携を取りながら取り組みを進めていくと記載しています。
11	IV目指す姿を実現するための取り組み (施策推進に当たっての留意点)	デジタルデバイドへの配慮が必要であり、形式的な研修会ではなく、住民との柔軟なコミュニケーション作りが重要であり、アナログとデジタルを共存させ、時にはDXによって効率化され生み出された職員の時間と労力を配慮を必要とする住民への対応に充てることで、高齢者や障がい者にとっても住みよいまちづくりを目指すことを望む	1	【記述済み】 IVの施策推進に当たっての留意点の一つとして、「誰も取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げ、全ての県民の方にデジタル化の恩恵を広く行きわたらせていくという観点が重要であると記載しています。
12	Ⅲ-1 本県の目指す姿	高齢化や人口減少等、県が抱える課題を解決する一つ的手段としてDXが推進され、住民だけでなく、職員にとっても豊かさを実感できるやまなしになることを期待している。豊かなやまなしを実現するためには、人口の増加が一つ的手段であり、移住者を増やすアイデアをもっと県民から募集したらどうか。	1	【その他】 移住者を増やすための取り組みについては、地方創生に係る施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
13	IV目指す姿を実現するための取り組み (施策推進に当たっての留意点)	DX推進にあたっては、基となるデータの整備が前提条件となるが、各自治体でオープンデータ化への取り組みが進められているが、自治体ごとにまだまだ実績に差がある。	1	【記述済み】 IVの施策推進に当たっての留意点の一つとして、「データの利活用による価値創造」を掲げ、データの流通と利用の重要性を位置づけるとともに、具体的な取り組みとしてもオープンデータの推進について記載しています。
14	全般	デジタルトランスフォーメーションによって、具体的にどのように変革するかはの施策やロードマップの内容が薄いように感じる。また、その変革によって県民がどのようにベネフィットを感じるかも表現した方が、県民が計画をよりよく理解し、身近に感じることができるのではないかと。	1	【その他】 いただいた意見も参考にしながら、県民にわかりやすい形で計画の周知を図っていきます。
15	全般	国のDX推進に従った施策も当然必要と考えるが、他県とは異なる山梨県ならではのDX化の施策も検討して良いのではないかと。	1	【記述済み】 国の自治体DX推進計画については、行政のDXについて記載した計画となっていますが、本県のDX推進計画については、産業や暮らしを含めた社会全体のDXを目指す計画となっており、各政策分野における山梨県の特徴を反映しています。
16	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX	山梨県内の「(仮称)未来デジタル産業」創出に向けて、産学官連携による山梨ならではの県民のための新たな価値の共創ができる環境(場)づくりに期待している。	1	【実施段階検討】 ・産業のDXに関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。

No.	箇所	意見の概要	意見数	県としての考え方 (対応方針)
17	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX 1-⑨DX推進を支える職員の育成・確保 産業のDX ⑦産業を支える人材の育成・確保	DXの取り組みに必要な課題発見力、課題解決構想力、その解決策を実現できる技術者等の人材育成が必要であり、産業界、教育機関、公共機関における人材育成と、産学官が一緒に協調しながら人材育成できる施策があっても良い。	1	【実施段階検討】 ・産業のDXの⑦産業を支える人材の育成・確保及び行政のDX⑨DX推進を支える職員の育成・確保に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
18	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX	暮らしのDX計画の中に、「グリーンイノベーション」の観点による施策もあれば良いと思う。	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXに関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
19	Ⅲ-2 取組方針	社会全体のDXを推進するためには、産官学民との連携が非常に重要であるため、意見収集の方法についてもデジタル技術を活用し、意見を可視化し、かつ意見交換ができるような仕組みを導入すれば、学生などの若者からの意見も集まり、より県民の関心も高まり、様々な意見が出てきて、機運が醸成されるのではないかと。特に、大学や中高との連携は重要であり、学生を巻き込むことにより、若者が地域の課題や魅力を発見し、卒業しても山梨で暮らし、仕事をする人が増えることで、生産年齢人口の減少も緩和され、都心部からの企業の進出も増えると考えられる。	1	【その他】 ・Ⅲ-2取組方針に記載したとおり、社会全体のDXの実現には、様々な団体、企業、機関等と目指すべき姿を共有し、具体的な取り組みを進めていくこととしており、そのために必要な計画内容の周知や意見交換を行っていく際の参考にさせていただきます。
20	Ⅲ-2 取組方針	他県で取り組んでいる官民共創ポータルのように、民間や各種団体からのDX活用提案を受け付ける窓口を設置したらどうか。	1	【その他】 計画に関する意見については、ホームページ等において随時受け付けていく予定ですが、その検討・実施の際の参考にさせていただきます。
21	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ①ものづくりなどの生産性向上	山梨の産業を支えている製造業とIT企業(ソフトウェア産業)の連携を今以上に進める必要があるため、「やまなしIoT推進ラボ」の運営や「オープンイノベーションを推進するためのネットワークの構築」に期待している。	1	【実施段階検討】 ・産業のDXの①ものづくりなどの生産性向上に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
22	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ③オープンデータの推進	山梨県ならではのニーズを把握するため、何らかの形で県民や企業、各種団体のニーズを収集する取り組みを行った方が良い。	1	【修正加筆等意見反映】 ・データの利活用に向けて、ニーズの把握は重要であるため、1-③オープンデータの推進の目指す姿及び具体的な取り組みに以下の記載を追加します。 公開が推奨されるデータセットや、今後検討が進められるベースレジストリに対応したデータ、その他県内の企業等で利用が見込まれるデータなどが整備され、 ◇利用が見込まれるデータの調査・検討
23	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ③オープンデータの推進	住民にとって一番身近な市町村が保有する情報をオープンデータ化することが利活用推進につながり、官民協働の推進に繋がるが、県内の市町村の公開率は低い状況となっているため、市町村への支援も重要。	1	【修正加筆等意見反映】 ・現在も様々な情報提供や相談支援により市町村におけるオープンデータの取り組みの促進を図っているため、1-③オープンデータの推進の具体的な取り組みに以下の記載を追加します。 ●国の動向や先進的な事例についての情報提供等による市町村の取り組み支援
24	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ③オープンデータの推進	国ではデータ公開中心の取り組みから、データ利活用による諸課題の解決に向けた取り組みへフェーズを移行しており、企業やシビックテック団体などと連携した中で、オープンデータ利活用に向けた研修や、住民への普及啓発及び住民や企業のデータ利活用支援を行い、活用事例を蓄積し、見える化していくことが重要。	1	【実施段階検討】 ・行政のDXの③オープンデータの推進に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
25	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ②マイナンバーカードの普及・活用	マイナンバーカードの普及がなかなか進んでいないため、公共施設利用(温泉等)や移動困難者に対するバス利用補助の利用登録証や利用券などとして使用できれば、高齢者への普及が進むのではないかと。	1	【実施段階検討】 ・行政のDXの②マイナンバーカードの普及・活用における啓発活動に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。

No.	箇所	意見の概要	意見数	県としての考え方 (対応方針)
26	IV目指す姿を実現するための取り組み 行政のDX ⑥サービスの向上と業務効率化 ⑨DX推進を支える職員の育成	AI、RPAなどの先端技術を活用する他、世界的にニーズが高まっているノーコード・ローコードといったツールを活用できる人材を育成し、職員自ら身近な業務をデジタル化することにより、業務の効率化と、迅速なサービス提供ができるようになる。	1	【実施段階検討】 ・行政のDXの⑥サービスの向上と業務効率化や⑨DX推進を支える職員の育成に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
27	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ②やまなし観光MaaSの推進	観光情報のオープンデータ化も有効ではないか。スマホアプリに観光施設などのオープンデータを取り込み、まち歩きイベントなどに活用することにより、県民に対して広く情報発信できるようになる。	1	【実施段階検討】 ・行政のDXの③オープンデータの推進や観光分野に係るDXに関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
28	IV目指す姿を実現するための取り組み 産業のDX ③体験型文化観光の推進	文化財などのオープンデータ化も有効ではないか。スマホアプリに文化財や歴史的な場所などのオープンデータを取り込み、まち歩きイベントなどに活用することにより、県民に対して広く情報発信できるようになる。	1	【実施段階検討】 ・行政のDXの③オープンデータの推進や観光分野に係るDXに関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
29	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ①ICT教育の推進	教育改革により教員への負担が増えているため、企業や大学との連携や、外部からの支援人材（ICT教育活用アドバイザー、GIGAスクールサポーター、ICT支援員など）を確保する取り組みが必要	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXの①ICT教育の推進におけるICTを活用した教育の推進体制の強化に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
30	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ③デジタル格差対策	デジタル技術を活用した支援とともに、デジタル技術の教育支援も必要。また、誰もが情報にアクセスできる仕組み、高齢者や障害を持っている方にも扱えるUI・UXを目指して全てのサービスを考えていく必要がある。聴覚障害者の方に対しては、手話を理解できる人は2割弱であり、音声認識技術などを活用した字幕サービスの提供も必要。デジタル活用が遅れている福祉分野こそ、支援団体等と連携して、デジタル技術を活用して、ハンディキャップを持っている方も社会参画できるようにしてほしい。	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXの③デジタル格差対策に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
31	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ⑤子育て世帯等への支援	子育て施設や公園などの情報のオープンデータ化も有効ではないか。	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXの③オープンデータの推進や子育て支援分野に係るDXに関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
32	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ⑥オンライン診療の普及 ⑦データを活用した健康・医療・福祉	電子版かかりつけ連携手帳の県内全体への普及と県民の利用促進を期待する。将来的に一生における県民の情報一元化への利用拡張にも期待する。	1	【その他】 ・暮らしのDXの⑥オンライン診療の普及については、電子版かかりつけ連携手帳と連動したオンライン診療システムの県内医療機関への普及を促進して行くこととしております。また、⑦データを活用した健康・医療・福祉に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
33	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ⑩避難対策の強化	避難所・避難場所などの情報のオープンデータ化も有効ではないか。また、高齢者や障害者、外国人への情報伝達の仕組みとしてデジタル技術の活用は重要。	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXの⑩避難対策の強化に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
34	IV目指す姿を実現するための取り組み 暮らしのDX ⑨防災情報・災害発生情報の充実・高度化	SNSによる情報発信も行われているが、SNSは複数存在し、情報を一元的に管理する「山梨県専門災害情報アプリ」の作成が必要。アプリでは災害時の道路等の冠水状況や最寄りの避難場所の確認、土砂災害情報の通報システムとして活用可能であり、平時においては、道路環境等のインフラ整備に関する瑕疵や異変の通報システムとして活用する。	1	【実施段階検討】 ・暮らしのDXの⑨防災情報・災害発生情報の充実・高度化に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。